

## 2007～2010 年度 中期経営計画

### 北海道を拠点とした航空ネットワークの拡充により 北海道とともに飛躍するエアラインへ

北海道国際航空株式会社(本社:札幌市、代表取締役社長:滝澤 進、以下:エア・ドゥ)では、当社としては初の中期経営計画となる、「2007～2010 年度中期経営計画」を策定致しました。

本中期経営計画においては、きたる 2010 年度の羽田空港再拡張とその後の「大競争時代」に向けて、安全を基本とした経営基盤の抜本的強化を図るための事業の計画と重要課題についての取り組み内容をまとめております。

当社は、この中期経営計画を着実に実現することにより「北海道の翼」としての使命を確実に果たし、北海道とともに高く飛躍するエアラインを目指します。

#### 1. 基本方針

中期経営計画において、以下を基本方針として「北海道の翼」としての使命達成と企業理念の具現化に向けての取り組みを推進していきます。

- (1) 羽田空港再拡張以降も安定的に利益を計上し得る強靱な企業体質を構築する。
- (2) 羽田空港再拡張における事業規模拡大に備え、所要の準備を着実に進める。

#### 2. 経営基盤の確立

##### (1) 事業運営基盤の強化

機材計画・路線便数計画等、航空事業の基盤となる各種計画に基づき、ANAグループとの効果的な提携を推進しつつ、安定した事業運営基盤を構築します。

##### (2) 収益基盤の強化

いかなる環境下においても確実に利益を確保できる収益基盤を構築するため、新規路線展開を含めた事業規模拡大などにより収益力を強化するとともに、自社業務範囲の拡大や燃油費削減など徹底した低コスト化を図ります。

### 3. 事業計画

#### (1) 機材計画

計画期間中の機材構成は、B767型機及びB737型機の2機種体制とし、羽田空港再拡張時における機材数は、2008年2月に導入した予備機を含め合計10機とします。

機材品質の向上を目指し、長期使用機材の更新を行うとともに、継続使用機材については居住性・快適性の向上を推進します。

羽田空港再拡張時を目的にB737-NGの新規導入を検討します。

#### (2) 路線便数計画

新たな収入基盤の構築を目指し、新千歳空港を基点とした新規路線を開設します。

2008年度については、下期より、B737-500型機を導入し新千歳＝仙台線の運航を計画します(3便/日)。

羽田空港再拡張時には、更なる国内航空ネットワークの拡充に向け、少なくとも4枠程度の発着枠の確保を目指し、新規路線の開設も含め、事業規模拡大に向けた検討を開始します。

羽田空港再拡張後は、高収益体制の構築を目指すべく、更なる国内航空ネットワークの拡充及び事業規模の拡大を図ります。

### 4. 重要課題

#### (1) 安全性の向上

安全マネジメントシステムの更なる浸透を図り、未来につながる高水準な安全性を確保し、安全を絶対的の使命として追求します。

#### (2) 定時性の向上

お客様にご満足頂ける定時出発の実現を目指します。

#### (3) 商品競争力の強化

「北海道ホスピタリティ」を追求するとともに、「安くて、便利で、快適な」航空サービスをより一層強化していきます。

#### (4) 人的競争力の強化

「人材こそが最大の財産である」の認識のもと、社員一人ひとりが能力を最大限に発揮しつつ、自律的かつ積極的に成長し、更には組織力を高めていくことを目指し、取り組んでいきます。

#### (5) 社会とのつながり

私たちエア・ドゥは、航空運送の責任ある担い手として、独自性の高いサービスを提供し、「北海道の翼」としての使命を果たすことを通じて北海道の地域振興に貢献します。

### 5. 利益目標

厳しい市場競争においても、着実な事業計画の遂行による事業規模の拡大と徹底的なコスト構造の改革により、2010年度には営業収入420億円、当期純利益5億円の達成を目指します。